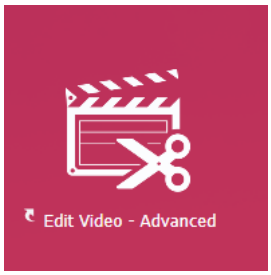
Roxio Creator NXT

VideoWave

Roxio® Creator® NXT には、ビデオ編集のための VideoWave が付属しています。このオンラインガイドでは、VideoWave の最新機能の一部をご紹介します。



VideoWave は、Roxio Creator ホームページまたはビデオ / ムービーページからご利用いただけます。

このガイドでは、次の機能について解説します。

- 画面分割
- オーディオ ダッキング（Pro）
- ペイント効果（Pro）
- トラックの透明度
- モーション トラッキング
- 360 ビデオ

画面分割

画面分割ビデオを簡単に作成して、プリセットまたはカスタマイズしたテンプレートで複数のビデオを再生することができます。

テンプレートを使用して画面分割ビデオ プロジェクトを作成することも、独自の画面分割テンプレートを作成することもできます。

始める前に

- 使用するビデオ クリップが [メディア セレクター] にあることを確認します。
- 使用するビデオ クリップをプレビューして、焦点を置くコンテンツにどのような図形が適しているかを考えます。たとえば、メインアクションが縦向きの場合、横向きの図形は適さないでしょう。

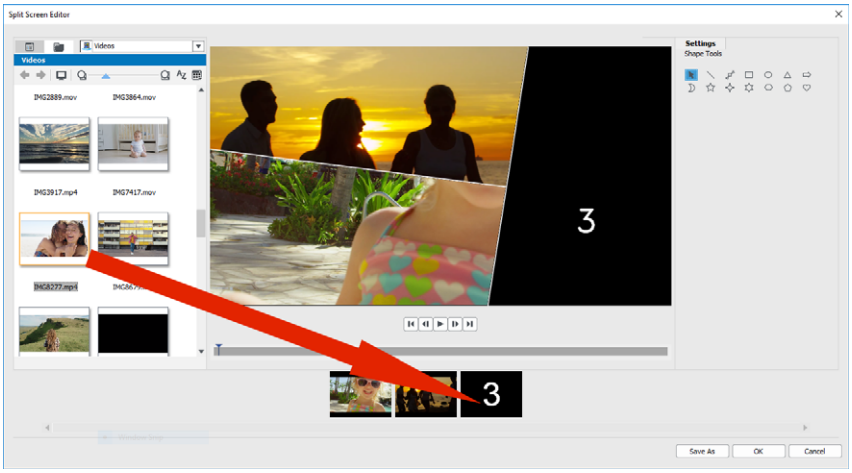
画面分割テンプレートを選択して適用するには

1 [効果セレクター] の [分割画面] ボタンをクリックします。

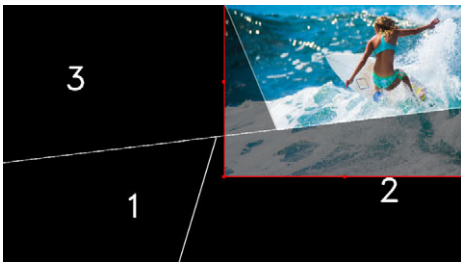
2 ドロップダウン メニューから、[すべて]（Roxio が作成したすべてのテンプレート）を選択、または [カスタム]（ユーザーが作成したテンプレート）を選択します。

3 テンプレートのサムネイルをダブル クリックして [画面分割エディタ] を開きます。

4 テンプレートに配置するには、メディア エリアからビデオや写真のサムネイルをプレビュー ウィンドウの下にあるドロップ ゾーンにまでドラッグします。ドロップ ゾーンの中にある数字と一致するテンプレートのエリアにメディアが配置されます。



5 ドロップ ゾーンで調整したいメディアのサムネイルが選択された状態で、プレビュー エリアで以下のどれかを行います。
- プレビューウィンドウに表示されたサイジング ノード（赤色の点）をドラッグして選択されたクリップのサイズを変更します。
- プレビュー ウィンドウ内でクリップをドラッグして配置します。



ドロップゾーンで選択されたクリップは、プレビュー ウィンドウで赤色のアウトラインで表示されます。

6 分割画面プロジェクトが完了したら、[OK] をクリックして、[画面分割エディタ] を閉じます。

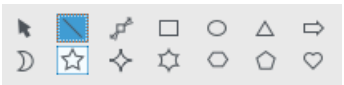
追加したメディアが含まれたテンプレートを保存する、または [図形ツール] を使ってテンプレートを編集するには、[名前を付けて保存] をクリックして現在のテンプレートのバージョンを新しい名前で保存します。

注意：[タイムライン] に分割画面のエレメントを追加した後で編集する場合は、以下のどれかを行います。
- [タイムライン] の分割画面のエレメントをダブル クリックして [画面分割エディタ] を再び開きます。
- [タイムライン] の分割画面のエレメントを選択して、[プロダクション エディター] にある [内部トラック] タブをクリックします。このモードでは、個々のオーバーレイ トラックをクリックしてクリップを調整することができます（終了して [タイムライン] に戻るには、[完了] ボタンをクリックします。）。

画面分割テンプレートを作成、編集するには

1 [タイムライン] のツールバーで、[画面分割エディタ] ボタン をクリック、または既存の画面分割テンプレートをダブル クリックします。

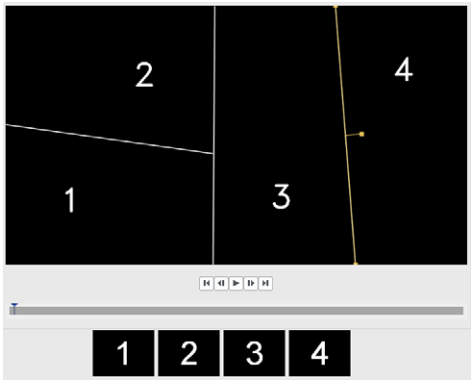
2 [設定] パネルで、[図形ツール] からどれかを選択し、エディタ ウィンドウ内でドラッグしてエリアを分割して異なるクリップ ゾーンにします。



3 線や形状を調整するには、[図形ツール] エリアで [選択] ツール を選び、エディタ ウィンドウで編集したいエレメントを選択します。

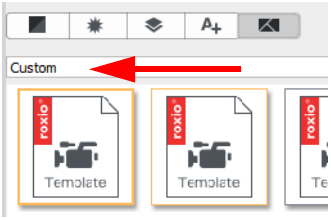
線や図形をドラッグして位置やサイズを変更することもできます。[プロパティ] エリアで [回転]、[[幅]、[カラー] を調整することもできます。

4 テンプレートにコンテンツを保存する（たとえば、画像やビデオをテンプレートの一部とする）場合は、追加するコンテンツに移動し、対応するサムネイルをドロップ ゾーンの必要な番号にドラッグします。
注意： コンテンツを削除するには、コンテンツをドロップ ゾーンで右クリックし、[削除] を選択します。



プレビュー ペインの下端に番号が付与されたドロップ ゾーンが表示されます。

5 テンプレートが完了すると、[名前を付けて保存] をクリックし、ファイル名を入力して [保存] をクリックします。
テンプレートはデフォルトで [ピクチャ] フォルダに保存され、[効果セレクター] の [画面分割] ページにあるドロップダウンメニューから [カスタム] を選択してアクセスすることができます。



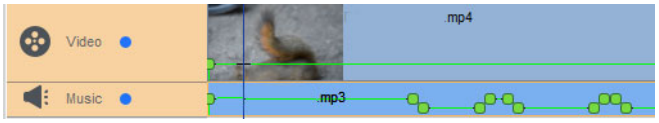
6 [OK] をクリックして [タイムライン] に戻ります。

オーディオ ダッキング（Pro）

オーディオ ダッキング（サイドチェインに似たコンセプト）は、あるトラックの音量を自動的に下げて、他のトラックを聴きやすくします。たとえば、音楽とナレーションを含むビデオ プロジェクトにオーディオ ダッキングを利用すると、ナレーションが流れている間の音楽の音量を自動的に下げることができます。ダッキングのトリガとなるしきい値を変更することで、背景トラックの音量をどの程度下げるかを調整できます。

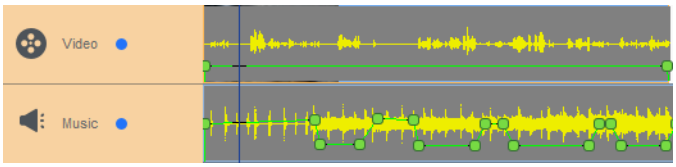
オーディオダッキングを使用するには

1 [プロダクション エディター] パネルで、[タイムライン] タブをクリックします。
2 プロジェクトの内のトラックを右クリックし、[オーディオダッキング] を選択します。
3 [オーディオダッキング] ダイアログ ボックスで、[マスタートラック] ドロップダウン メニューから保護したい音声のあるトラックを選択します。
4 次のスライダを調整して、他のトラックの音声をどのように低下させるかを決定します。
   - ダッキングレベル — 音量の低下量を決定します。数値が高いほど音量が低いことを意味します。
   - 感度 — ダッキングの発生に必要な音量のしきい値を決定します（選択したトラックの上のトラックから読まれます）。最良の結果を得るには、[感度] スライダーを再調整が必要となることもあります。
   - アタック - [感度] のしきい値に到達した後、ボリュームを ［ ダッキング レベル］設定まで下げるまでに要する時間を決定します。
   - ディケイ - ［ダッキング レベル］から通常のクリップ ボリュームに戻るまでの時間を決定します



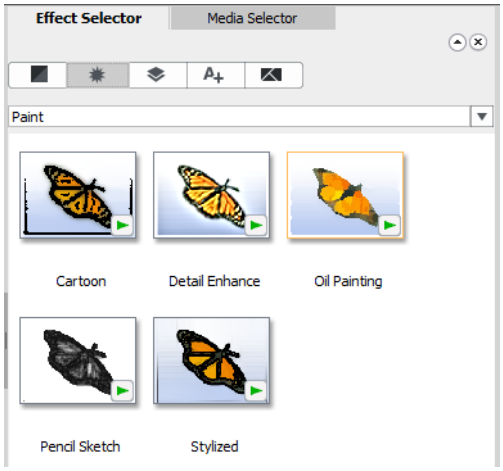
この例では、ビデオトラック上のボイスが聞こえにくくならないよう、ミュージック トラックを上下させ、感度設定は「10」が最良の結果となりました。

[オーディオダッキング] の結果は手動で調整できます。[タイムライン] ツールバーで、[オブジェクトの音量エンベロープを編集] ボタン をクリックし、緑色のボリューム ラインに沿って、キーフレーム ノードをドラッグ、追加（ラインをクリックする）、または削除（[削除] を押す）します。



ペイント効果（Pro）

[ペイント] 効果により、ビデオにアーティスティックな効果を適用することができます。これらの効果には、[漫画調]、[細部]、[補正]、[オイル ペイント]、[鉛筆スケッチ]、[様式化] などがあります。[ペイント] 効果は、[効果セレクター] にあります。ドロップダウン メニューから [ペイント] を選択します。



トラックの透明度

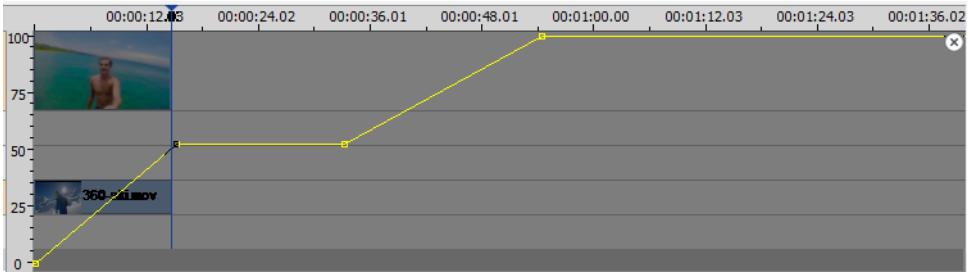
オーバーレイトラックでクリップの不透明度を調整して、重ね合わせの効果やカスタムでフェードイン / アウトの効果を作成することができます。

オーバーレイトラックの透明度を調整するには

1 プロダクションエディター領域で、[タイムライン] タブをクリックします。

2 編集するオーバーレイトラックで、[透明度の追跡] アイコンをクリックします。

透明度の追跡モードがタイムライン全体で有効化され、0（完全に透明）～ 100（完全に不透明）の値で不透明度を調整できます。黄色い線は現在の設定を表します。



3 次のいずれかの操作を行います。

- トラック全体の不透明度を調整するには、黄色い線を希望のレベルまで上下します。ライン上にキーフレームがある場合は、削除します（キーフレームを右クリックし、コンテキストメニューから [すべてのキーフレームを削除] を選択）。
- トラックの透明度を変更するには、黄色い線をクリックし、必要なキーフレームノードを追加します。ノードをドラッグして不透明度を調整します。

注意： キーフレームをひとつだけ削除する場合は、キーフレームを右クリックし、コンテキストメニューから [キーフレームを削除] を選択します。

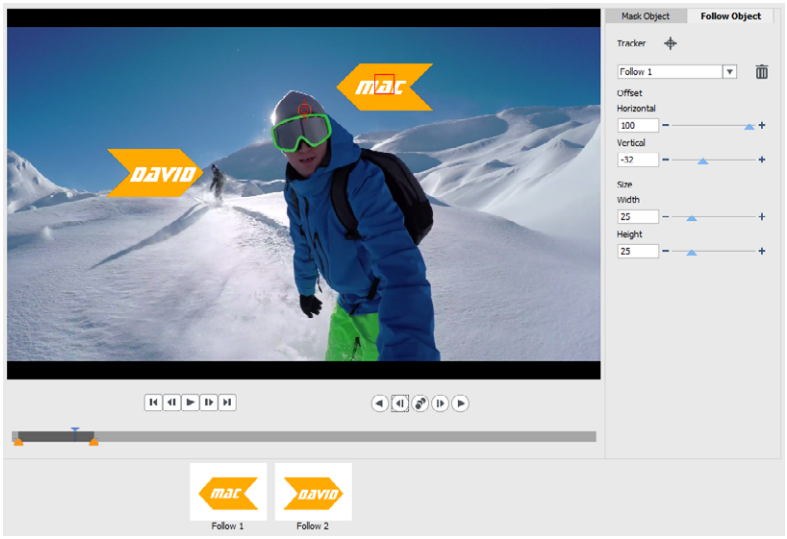
4 透明度の追跡モードを終了するには、タイムライン領域の右上の [閉じる] ボタン をクリックします。

モーション トラッキング

ビデオのエレメントの動きをトラックし、同じモーションを追従するマスクまたはオブジェクトを追加できます。例えば、ビデオに見える顔、ナンバープレート、商標ロゴにマスクをかけ、ぼやかすことができます。

また、エレメントの動きをトラックしてオブジェクトで追従することも可能です。例えば、ネームラベルを追加して、スポーツイベントのビデオのプレーヤーを追従できます。ビデオ内の複数のエレメントを追従できます。

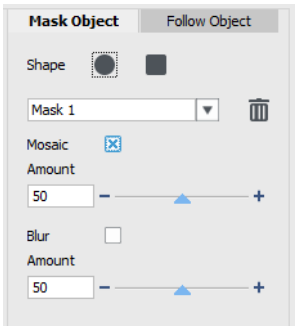
注 : モーショントラッキングを開く前に、タグまたはラベルのイメージファイル（PNG 推奨）を作成しておくことをお勧めします。お好みのアプリケーションを使用して、[オブジェクトをフォローする] タグまたはラベルを作成します。ファイルを保存しておくと、メディアセレクターからアクセスできます。



黄色の名前ラベルが VideoWave にインポートされ、個別のトラッカーに適用されます。

ビデオエレメントのトラックとマスク

1 プロダクションエディター領域で、[タイムライン] タブをクリックします。
2 ビデオトラックでクリップを選択し、ツールバーの [モーショントラッキング] ボタン をクリック、またはコンテキストメニューから [モーショントラッキング] を選択します。
3 [マスクオブジェクト] タブで、[形状] アイコンをクリックします。



4 プレビューウィンドウをドラッグして、カバーしたい領域にシェイプを適用します。マスクノードをドラッグして、マスクを微調整します。

5 **モザイク**または**ぼかし**領域で対応するチェックボックスをオンにし、選択した領域をぼかす量を調整します。

モザイクエフェクト (左) ぼかしエフェクト (右)

6 以下の [分析] ボタン のいずれかを選択して、ビデオの選択領域をトラックします。

- **後ろを分析** — 選択した領域がスクリーンに表示されなくなるまで、現在のタイムポイントから後方にトラック
- 1 フレーム後ろを分析 — 選択した領域を現在のタイムポイントから 1 フレーム後方にトラックします。トラックが難しいセグメントのショートトラックに最適です。
- **前後を分析** — 選択した領域がスクリーンに表示されなくなるまで、現在のタイムポイントの前後をトラック
- 1 フレーム前を分析 — 選択した領域を現在のタイムポイントから 1 フレーム前方にトラックします。トラックが難しいセグメントのショートトラックに最適です。
- **前を分析** — 選択した領域がスクリーンに表示されなくなるまで、現在のタイムポイントから前方にトラック。

7 プレビューの下の再生コントロール を使用してビデオを再生し、トラッキング分析をチェックします。

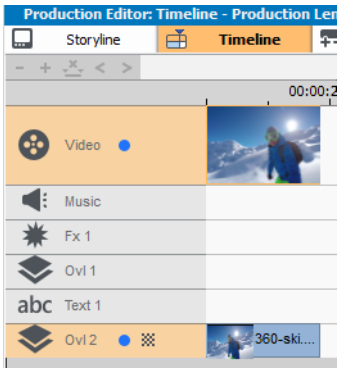
選択した領域をマスクが完全にカバーしていない部分がある場合は、ビデオを一時停止してプレビューエリアでノードを再調整します。マスクの形状を変更するには、マスクのオレンジ色の枠線をクリックしてノードを追加（ポインタがプラス符号で表示）するか、ノードを右クリック（選択したノードが黄色くハイライト) してノー

ドを削除します。マスクをドラッグして再配置することができます（移動モードがオンのときはポインターは黒色になります）。

モーショントラッキングの結果をトリミングする場合は、プレビューウィンドウの下に表示される黄色のトリミング マーカーを使用します。

8 マスクに問題がなければ、OK をクリックします。

マスクオブジェクトが新しいオーバーレイトラックのタイムラインに追加されます。



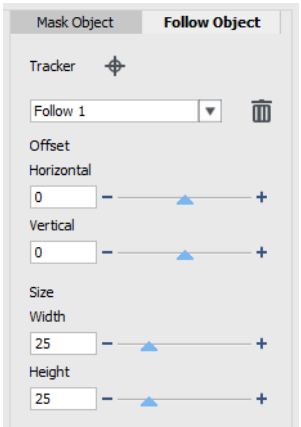
ビデオのエレメントをオブジェクトで追跡するには

1 プロダクションエディター領域で、[タイムライン] タブをクリックします。

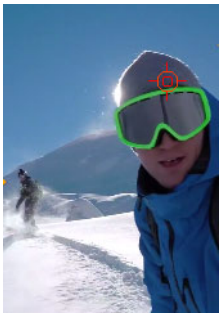
2 ビデオトラックでクリップを選択し、ツールバーの [モーショントラッキング] ボタン をクリックします。

3 [オブジェクトをフォローする] タブをクリックします。

4 オブジェクトをフォローする領域で、[トラッカー] アイコン をクリックします。



5 プレビューエリアで、トラックしたエレメントをクリックします。最もきれいな色とコントラストの領域を選択します。トラッカーはプレビューウィンドウに赤色で表示されます。



6 以下の [分析] ボタン のいずれかを選択して、ビデオの選択領域をトラックします。

- **後ろを分析** — 選択した領域がスクリーンに表示されなくなるまで、現在のタイムポイントから後方にトラック
- **1 フレーム後ろを分析** — 選択した領域を現在のタイムポイントから 1 フレーム後方にトラックします。トラックが難しいセグメントのショートトラックに最適です。
- **前後を分析** — 選択した領域がスクリーンに表示されなくなるまで、現在のタイムポイントの前後をトラック
- **1 フレーム前を分析** — 選択した領域を現在のタイムポイントから 1 フレーム前方にトラックします。トラックが難しいセグメントのショートトラックに最適です。
- **前を分析** — 選択した領域がスクリーンに表示されなくなるまで、現在のタイムポイントから前方にトラック。

7 プレビューの下の再生コントロール を使用してビデオを再生し、トラッキング分析をチェックします。

あるポイントでトラッキングが消失したら、トラッカーが消失したポイントを探し、そのトラッカーを再び適用します。

8 メディアセレクタのトラッキングパスに適用するオブジェクトを、プレビュー ウィンドウ下のドロップゾーン（サムネイル領域）にドラッグします。

選択したオブジェクトがプレビューエリアに表示されます。

9 タイトルやオブジェクトの位置を調整するには、**オフセット**領域で**水平**および**垂直**設定を調整します。

10 タイトルやオブジェクトのサイズを調整するには、**サイズ**領域で**幅**および**高さ**の値を入力します。

11 ビデオを再生して、オブジェクトの位置を確認します。

12 トラッキングに問題がなければ、［OK］をクリックしてメインの作業領域に戻ります。

新しいオーバーレイトラックがタイムラインに挿入されます。

ヒント：

トラッキングするオブジェクトを削除するには、[オブジェクトをフォローする] エリアで、トラッカーのアイコンの下にあるドロップ リストからトラッカー名を選択し、[削除] ボタン をクリックします。

トラックするオブジェクトを置き換えるには、ドロップゾーンで既存のサムネイルにメディアセレクターからファイルをドラッグします。

360 ビデオ

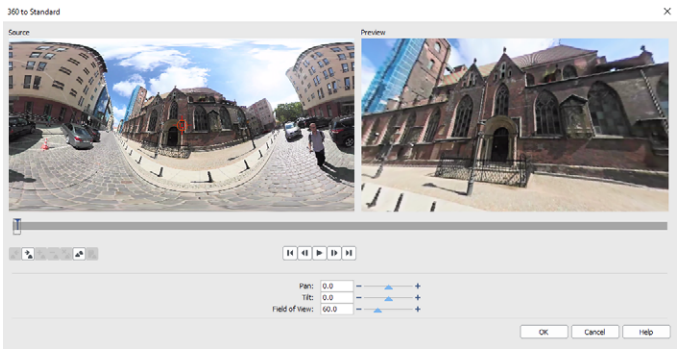
VideoWave では 360 ビデオを標準ビデオに変換することができます。

???360 ビデオにはいくつかのタイプがあります。VideoWave は、平面視の equirectangular、single fisheye、dual fisheye による 360 ビデオ映像に使用されます。

360 ビデオを標準ビデオに変換する理由

360 ビデオを変換する理由をいくつかご紹介します。

- 360 ビデオ映像に何を表示させるかをコントロールしたいことがあります。VideoWave で標準ビデオを変換する場合、マルチカメラソースで使用するのとほぼ同じ方法で 360 ビデオソースを使用してキーフレームの精度でユーザーのビューを選択可能。
- 標準ビデオは特別なプレーヤーを必要とせず、広範囲のアプリケーションやデバイスで再生可能（ビデオはインタラクティブではありません）。
- 標準のビデオサイズは 360 ビデオよりかなり小さくて済む。



360 ～標準ダイアログボックス。360 ビデオソースは左側に、標準ビデオプレビューは右側に表示されます。

[360 度から標準に] ダイアログボックスの制御と設定

- キーフレームコントロール を使用すると、スクラバーの位置に応じてタイムライン上のキーフレームを変更できます。前のキーフレームまたは次のキーフレームに移動したり、キーフレームの追加、キーフレームの削除、すべてのキーフレームを削除、キーフレームのコピー、キーフレームの貼り付けをしたりすることができます。
- 再生バー を使用してクリップを移動します ([ホーム]、[前のフレーム]、[再生]、[次のフレーム]、[終了])。
- スクラバー を使って、クリップをコマ送りすることができます。キーフレームをクリックすると、ジョグスライダーがタイムラインの現在の位置に移動します。
- [360 度から標準に] ダイアログボックスの ?????? は、設定可能なキーフレームを含むシンプルなバーで、スクラバーで操作できます。
- [パン] — ビューを横方向（X 軸）に調整します。
- [チルト] — ビューを縦方向（Y 軸）に調整します。
- [??] — 選択したビューのシーンとカメラがどのくらい遠く離れて表示されるかを調整します。効果はズームと似ています。値が小さいほどズームインされてビューが狭まり、値が大きいとズームアウトされてビューが広がります。

360 ビデオを標準ビデオに変換するには

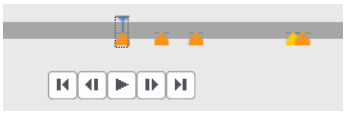
1 プロダクションエディター領域で、[タイムライン] タブをクリックします。

2 ビデオ トラックで、360 ビデオ クリップを右クリックし、[360 ???] > [360 ????] を選択し、次のどれかを選択します。
   - [Equirectangular から標準]
   - [Double Fisheye から標準]
   - [Double Fisheye から標準]

   すると、プレビュー ペインが 2 つある [??] ウィンドウが開きます。プレビュー ペインの左側には 360 ビデオ、右側には標準ビデオが表示されます。

3 360 ビデオ ペイン（[ソース]）内で、標準ビデオ ペイン（[プレビュー]）に表示させたいビューに配置されるまでビュー トラッカー アイコン をドラッグします。

4 標準ビデオペインのビューを変更する場合は、[??] をクリックして 360 ビデオの再生中にビュートラッカーをドラッグします。
ビューを変更するごとに、キーフレームが追加されます。



キーフレームは、タイムライン上で黄色のマーカーで表示されます。

[プレビュー] ウィンドウでドラッグし、マウスのホイールをスクロールしてズームイン / アウトすることもできます。

5 作業が終了したら、次のいずれかを実行してビデオの再生や編集を行います。
- キーフレームを削除するには、タイムラインでそのフレームを選択して [キーフレームを削除] をクリックします。
- タイムラインのキーフレームをドラッグすると、ビューが表示されるタイミングを変更できます。
- キーフレームをクリックし、パン、チルト、視野の値を調整するとビューを変更できます。
- [すべてのキーフレームを削除] ボタンをクリックすると、キーフレームをすべて削除できます。

6 [OK] をクリックして変更を保存し、メインの作業領域に戻ります。

7 プロジェクトを出力する場合、再生デバイスの標準ビデオ設定を選択してください。

注意：タイムラインでクリップを右クリックし、360 ビデオ > リセットを選択すると、変更をすべてリセットできます。

Copyright © 2019 Corel Corporation.All rights reserved.

Roxio® Creator® NXT ユーザーガイド

Corel、Creator、Roxio、Corel ロゴ、および Corel バルーン ロゴは、カナダ、米国、およびその他の国における Corel Corporation および / またはその子会社の商標または登録商標です。ここに記載されるその他すべての製品名および登録 / 未登録商標は、識別を目的としており、その所有権は各社にあります。特許 : www.corel.com/patent